こんにちは！

みどりの女神の佐野加奈です！

コンテナ苗の魅力と少花粉スギの植付体験

コンテナ苗はコンパクトで軽い！

5月19日に少花粉スギをコンテナ容器(＊)で生産している「群馬県山林種苗緑化協同組合」の角田金作さんのほ場を見学させて頂きました。

草花や野菜のコンテナ苗は園芸店で見たことはありましたが、スギ苗は畑で作るものと思っていたので、スギのコンテナ苗があることは知りませんでした。手にとって見たら、とても軽くてコンパクトな苗でした。

角田さんは、スギ、ヒノキなど年間約30万本を生産しており、このうちコンテナ苗15，000本を生産(全て少花粉スギ)しています。コンテナ容器で2年育て、主に国有林に出荷しているそうです。国有林は、花粉対策として少花粉スギ苗木を積極的に使っていくそうです。

少花粉スギとは、花粉生産量が一般のスギに比べ1％以下の品種だそうです。開発した研究者のすごさを感じます。

角田さんにうかがうと、少花粉スギの育て方で難しいのは、水管理やハウス内の温度管理、肥料の与え方等で、とても気を使うそうです。

今後、少花粉スギが増えていくといいなと思います。

私は、実際に現場を見て、生産者の徹底的な生産管理の素晴らしさと地道な作業に感銘を受けました。

少花粉スギのコンテナ苗を丁寧に植える！

関東森林管理局利根沼田森林管理署管内の国有林において、永井寛署長さんから苗木を優しく扱うことや植付機器の扱い方の注意点を聞き、私も実際に少花粉スギのコンテナ苗木の植付作業を行いました。

花粉が少しでも無くなるよう思いを込めながら、細い根っ子に愛情を込め、丁寧に植付をしました。

立派に成長し、美しいスギを見上げる日が来ることを心から願っています。

頑張れ、少花粉スギ！コンテナ苗！

＊国立研究開発法人森林総合研究所で開発しました。

植付指導を受ける

角田さんから苗の育て方を聞く

コンテナ苗を出荷

丁寧に植える

PROFILE

佐野（さの）加奈（かな）

平成6年3月23日、静岡県生まれ。2015年ミス日本みどりの女神として活躍中！